

令和7年3月3日

令和6年度 とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

園名	千代田区（市）立お茶の水幼稚園（こども園）
所在地	千代田区神田猿樂町1-1-1

1. 活動のテーマ

<テーマ>

色

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子供たちの興味関心、園の特色など）

色は活動を通して視覚から必ず入ってくる身近なものであり、子どもたちは自分の経験から得た様々な色を表現し味わう姿が見られる。色の持つ美しさや温かさ、冷たさを感じ取り、再現する活動は子どもたちの豊かな感性や創造力を身に付けさせることができる。特に自然界に存在する色は、普段目にするものがない複雑さを有しており興味関心を高めることができる。また、経験することで味わうことができた色は、光を通して表現することでより鮮やかに映し出され豊かな想像力を育むと考えた。

2. 活動スケジュール

3学期にレンタルで水槽を設置する。

- ・月に2回の清掃作業中に、自然な関わりの中で幼児が不思議に思ったことや感じたことを担当の方に自由に聞くことができる機会をつくる。
- ・講師を招聘し、絵具を使い活動する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

ライトテーブル・テーブル・椅子

本棚・図鑑

マイクロスコープ・デジタルカメラ・ブラックライト

全紙・OHPシート・画用紙・写真紙等

絵具・蛍光絵具・マジックペン等

4. 探究活動の実績

<活動の内容>

- ・普段から目にしやすい場所に淡水と海水の水槽を設置する
- ・月に2回の水槽清掃時に、子どもたちが不思議に思ったことなど聞く機会を設ける。
- ・水槽付近にライトテーブルや教材等を置き、自由の描くスペースを設定する。
- ・講師を招聘し、体を使いダイナミックに絵具で遊ぶ。

<活動中の子供たちの姿・声、子供同士や子供と保育者との関わり>

- ・淡水を海水の2つの水槽を設置することで色の違いや、魚の泳ぎ方の違いに気づき保育者や友達と考えたことを伝え合う姿がみられた。また子どもたちが水の中の生物に興味をもってみる機会となった。
- ・自然な関わりの中で、水槽のレンタル会社の担当の方に話をしたり思いついたことを聞いたりし専門的な話を聞くことができた。
- ・気になったことを図鑑で調べ友達に伝える姿もあった。
- ・水の中で生活する魚をじっくりと観察し、幼児なりに絵を描く。
- ・偶然できた形を楽しんだり、混じりあった色の違いに気づいたりしのびのびと絵具で遊ぶ。友達と一緒に思い切り色を混ぜたり、指先を使ってじっくりと絵を描いたりすることを楽しんでいた。

<活動の様子>

活動の様子が分かる写真を2枚以上貼付してください。

(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



5. 振り返り

（振り返りによって得た保育者の気づき）

- ・自分たちでは飼育が難しい水の中の生き物を身近な環境で観察したり時には触れさせてもらったりすることで、子どもたちの興味や関心が広がった。
- ・普段目にすることのない自然界の複雑な色をじっくりと見ることもできた。
- ・身近に水槽があることで時間に左右されず、生き物と心ゆくまで楽しめることができた。
- ・保育の中ではすぐにできないことも講師を招聘することで、子どもたちと一緒に保育者もダイナミックに絵を描くことで楽しさ味わうことができる。

以上